

# みやけの風

## 第 146 号

平成15年(2003年)10月18日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

12日の日曜日、江東・三宅島会がボランティア活動で、地元の公園に、ゆめ農園で育てられた「ガクアジサイ」の苗木を110本植えました。25名の島民は地元のボランティアさん数名と一緒に、手際よく1時間であっという間に植えてしまいました。荒川土手の清掃を手始めに、三宅島民としての区内でのボランティア活動は避難後4回目とのこと。素晴らしい活動だと思いました。

### みんなの声

#### 「郷愁」

お彼岸に墓参りをかねて巾着田へ彼岸花を見に行きました。高麗川に沿って、何百、何万と咲く花は見事でした。真っ赤な彼岸花と銀色に輝く川の流れの中に立って「冥土への旅立ちで渡る川はこんなのかしら？」と思いながら、この真紅の花を三宅島のお墓に一面に咲かせたら墓参りが楽しくなって、身内だけでなく誰も彼もが訪れてご先祖様も喜ぶかもしれない。三宅へ観光にきた人たちも感動してくれるかもしれないと思いました。

途中の昭和記念公園で持ってきたおむすびを食べました。そこにはコスモスの丘というのがあって、彼岸花と違った清楚で可憐な花畑が人々を魅了していました。青い空とピンクのコスモスはこの世で生きる喜びを感じさせてくれるようでした。三宅島のどこかにこんな花畑があったら幸せだなあと思いました。

喫茶店でおいしい紅茶をいただき、お店の方のぬくもりを感じながら、そう、三宅の人たちもみんなこんな風に温かくて優しく、一緒にいるだけで心安らぐのだと思いつつ、かりの住まいに戻りました。

(櫻田 邑江)

### 避難先での芋煮会

「島に帰ったら里芋を植えて、思いっきり食べたいなあー」

10月11日、北区桐ヶ丘デイホームでは『芋煮会』が行われました。この会への参加は、全島避難以来、毎年恒例になっています。今年も私たち三宅の島民にも呼びかけがあり、桐ヶ丘三宅島ボランティア会では回覧によって参加者を募り、20名の島

民が参加しました。

事前の打ち合わせで、里芋の煮ものとあしたばのごまあえを三宅島風の味付けで作ることに決め、里芋とあしたばを『げんき農場』にお願いしました。

季節的に早生芋を使うことになり、10日の午後よりデイホームの庭で車座になって里芋の皮むきをしました。皮むきをしているうちに、ふと、島での人寄せの情景を思い出しました。何十年と島で暮らしてきた人たち、だれが言うとはなしに、運搬や水まわりは若い人（と言っても60代の人）が受け持ち、2時間ほどできれいに皮むきができました。話題は、滞在帰島のことや本格的帰島ができたときのこと、三宅島のことが中心でした。

当日は北区のボランティアさん80名ほどが参加して、おにぎりやとん汁、蒸しパンなどを作り、訪れた参加者は250名を超え、にぎやかな会となりました。私たちが作った煮ものとごまあえも好評でした。参加者の中には「去年食べておいしかったから、今年も楽しみにして来たよ」と言ってくださる方もいました。また、北区のボランティアの皆さんは「本格帰島ができたなら、三宅島芋煮会ツアーを組んで三宅島に行きますよ」と、温かく励ましてくれました。昼食はデイホームの庭にある『三宅の丘』の芝の上でいただきました。その芝は三宅の人たちが協力して植えたもので、記念樹のダイダイも植えてあります。いつかこの樹が実をつける日を楽しみにしています。北区では「三宅島の人たちも地域に溶け込んで暮らしてほしい」と常々いってられています。

全島避難から3年余りの月日が過ぎましたが、その間に地域の方々にはいろいろな

形でお世話になり、感謝しています。そして、今回の会では、島の人たちで協力しながら、地域の方々と接する機会を持ったことをうれしく思っております。

最後になりましたが、げんき農場の皆様、里芋とあしたばをありがとうございました。お体に気をつけてこれからも頑張ってください。  
(北区桐ヶ丘 浅沼 美佐子)

あなたも、  
実行委員会に  
加わって、  
みませんか？

**三宅島支援東京センターより**

**第7回三宅島島民ふれあい集会**

**島民実行委員大募集！！**

15日付けの三宅村からのお知らせに同封させていただいたチラシの通り、『三宅島島民ふれあい集会』の開催が決定されました。これまでも、島民の方々のご要望にできるだけ添った集会にしようと、毎回、島民実行委員に入っていた形での集会を開催してまいりました。実行委員会には、どなたでもご参加いただけますので、それぞれがお忙しい中とは存じますが、ぜひとも実行委員会にご参加いただき、率直なご意見、ご要望をお寄せいただければと思います。

**第7回三宅島島民ふれあい集会第1回実行委員会**

日 時：平成15年 10月26日(日) 13:30～15:30  
 会 場：飯田橋セントラルプラザ12階 A会議室 (JR飯田橋駅西口すぐ)  
 お問合せ：第7回三宅島島民ふれあい集会実行委員会事務局  
 三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 TEL:03-3260-7573 / FAX:03-5229-1646

支援センターはこの週末お休みします。お問合せは火曜日以降お願いします

耳寄り  
情報その1

**そば打ち体験に三宅島の方をご招待**

紅葉便りが伝えられ、そば好きが心待ちにしていた秋そばの季節となりました。夏休みの参加者の再開希望と、皆さまとそば打ちを楽しみたいとの思いで、10月、11月に体験会を企画しました。各日ごとに、4人1組で5組(約20名)をご招待します。お一人の方でも人数調整いたしますので、お気軽にお問合せください。開催日の1週間前までに、三宅島島民連絡会まで、お申し込みください。皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時：10月 26日(日)・28日(火)  
 11月 29日(土)・30日(日) いづれも10:00集合 10:30～14:00  
 昼食つき(ご自分で打ったそばを、お楽しみいただきます)

場 所：須黒食品物流センター2Fキッチンスタジオ(JR南武線矢野口駅より徒歩5分)  
 お申し込み：三宅島島民連絡会事務局 TEL&FAX：03-3269-1243

耳寄り  
情報その2

**「JHP・学校をつくる会」**

**チャリティーイベント2003へ無料ご招待！**

武田鉄矢さん、海援隊、さとう宗幸さん、「3年B組金八先生」の出演者の皆さまが駆けつけて、歌とトークの楽しいコンサートを繰り広げます。三宅島の皆さま、各地に避難しているご家族の皆さまをご招待し、ステージより心から声援を送らせていただきます。

参加ご希望の方は、官製はがきに「JHPチャリティーイベントチケット希望」と氏名(ふりがな) 現住所 電話番号 をご記入の上お申し込み下さい。

抽選で50組100様に(はがき1枚で4名まで申込み可)チケットをお送りします。

日 時：平成15年 11月13日(木) 17:30開場、18:00開演、21:00終演  
 会 場：メルパルクホール(東京郵便貯金ホール・港区芝公園)

15:00より会場ロビーにてチャリティーバザーを行います。芸能人のご提供による衣類、バッグ、雑貨、食品、小物など盛りだくさんです。

申し込み：JHP・学校をつくる会(〒106-0032 港区六本木4-7-14 担当：伊藤)

電 話：03-5414-1774(平日、月から金、10時から6時半まで)

締 切：平成15年 10月31日(金)必着